

## 茨木市議会議員(無所属)

# あびこ浩子

## ゆめ・みらい通信

連絡先：(自宅) 茨木市穂積台1 2-503穂積台グランドコーポ

TEL&FAX 072-624-5480



Facebook：安孫子浩子 | WEBサイト：<http://www.hiroko-abiko.jp>



地域づくりワークショップ、三島地区の取組にて



### 9月議会

前段の本会議及び常任委員会終了しました

みなさま、いつもお世話になっております。安孫子浩子です。

9月議会が始まりました。私は9月6日(火)の午後に本会議の一般質問に登壇いたしました。

テーマは2つ。①安威川について／安威川ダムの工事の進捗状況：安威川ダムの工事の管理：安威川の河川管理、②高齢者施策について／高齢者の現状：生活支援体制整備事業について。

生活支援体制整備事業は、介護保険法が改正され、要支援1、2の方が地域支援事業という市町村が行う事業に移行され、高齢者が介護が必要になっても安心して在宅で暮らすための支援策を検討する協議体の設置と運営を行うものです。地域にいらっしゃるあらゆる皆様のお力とお知恵を出し合って、支え合いの体制を作るために動き出しました。この市域全体を対象にした第1層協議体の参加団体が114団体となっており、これほどの団体が集まっていたいる市町村はおそらく日本中探しても茨木市だけだと思います。

9月8日(木)民生常任委員会では、介護保険特別会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の付託議案を審議しました。

介護保険で実施されている「ボランティア活動ポイント制度」の報告をお聞きしましたが、シニアの皆様が、いきいき活動され、最高齢男性96歳の方がボランティアに参加されているとのご報告に驚きとそのパワーにこれからもずっとお元気で社会に参加していただきたいと願いました。高齢者を支える仕組み、居場所と出番を創出する取組を今年度も更に続けていただきたいと思います。尚、9月12日(月)から決算特別委員会が開催されています。

#### 【あびこ浩子プロフィール】

- ◆玉櫛小・南中卒業／1980大阪府立千里高校卒業／1984関西大学文学部卒業／2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了／大学時代銭原キャンパスでカウンセラーとして活動
- ◆1984高槻市立第7中学校教諭／1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職／2000沢池幼稚園PTA会長／2002穂積小PTA会長／2006茨木市PTA協議会会長／2004NPO法人 Chacha-House 代表理事／2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長／2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事／2011穂積地区自主防災会会長／2012穂積地区福祉委員会副委員長
- ◆2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選／2009・1茨木市議会議員選挙で2期目当選／2013・1選挙3期目当選
- ◆夫、長女、長男、次女夫婦と孫娘

お互いさまと思える茨木に!  
生活者の視点を政治に!



## あびこ浩子連絡先

電話&FAX 072(624)5480

Email: abiko-h@hcn.zaq.ne.jp

【自宅】茨木市穂積台12-503穂積台グランドコーポ

HP: <http://www.hiroko-abiko.jp>

facebook「安孫子浩子」お友達申請待ってます

## 「子ども食堂サミットin関西」に参加しました!

### 子ども食堂という居場所

・子どもは地域の宝、子どもの成長の過程で、地域・社会で支えようとするこうした動きがもっと増えると、子ども達の笑顔が増えることになると思いませんか?

・食事の場が多様化し「死食」が増えています。子どもが1人でもいける「子ども食堂」を、小学校区にせめて1つあったなら、子ども達はそこで様々な大人に出会える機会が増えます。

9月10日(土)

「子ども食堂サミットin 関西」に参加してきました。子どもの貧困が社会問題として取り上げられるようになり、食事をきちんと食べられていない子どもたちのためにと各地で子ども食堂の取り組みが広がっています。取組を広げるために、みんなで繋がってこうという動きが、あちこちで始まっています。

東京豊島子どもWAKUWAKUネットワークの栗林知絵子さん、「子どもの里」理事長の荘保共子さん、「にしなり子ども食堂」の川辺康子さんなど実践されている方々のお話は、涙なしには聞けませんでした。貧困の中で育つ子どもたち。暮らしの実態から子ども食堂へ。机上の議論ではない、現実を真摯に見つめ活動していく姿に触れ、私に何ができるのか改めて考えさせられました。茨木市にも始まった子どもの居場所・子ども食堂の取組を全力で支えていきます。



## 妊婦健康診査の公費助成額を増額

9月1日以降に受診する妊婦健診の公費助成を9万円から12万円の増額しています。

妊娠届け提出時に母子健康手帳と一緒に交付している母子健康別冊には14枚の妊婦健診受診券がついています。この券を府内の委託医療機関・助産所で提出すると助成を受けることができます。

※里帰り出産・海外出産の場合は、領収書をもって申請いただけましたら、後から助成されます。

※既に交付された旧助成券は、9月1日以降は新助成額に読み替えて使用できます。交換手続きはいりません。

枚数	8月31日まで	9月1日から	
1枚目	19000	23000	
2~6枚目	5000	4枚目	8000
		2.3.5.6枚目	6000
7・8枚目	8000	11000	
9~14枚目	5000	9.10.11.13.14枚目	6300
		12枚目	13000
総額	90000	120000	

子ども健康センター 電話621-5901

毎週火曜日・木曜日の朝、JR茨木駅西口下で朝のご挨拶させていただき、通信を配布させていただきます。お急ぎとは思いますが、お時間許せば手に取っていただけましたら幸いです。駅で見かけたらお声をかけていただけましたらとても嬉しいです!

